令和 7 年第 4 回山ノ内町議会定例会における「議員辞職勧告決議」に関する
議長コメント

本件につきましては、徳竹栄子議員が、6 月 11 日の予算決算審査委員会で、平澤岳町長が 2023 年 2 月の初当選時に公約に掲げ、同年 7 月から実施してきた給与の 3 割削減を今年 7 月から元に戻すことに関連した議案を審査中、議案に賛成する立場で「選挙公約は法的な根拠を持たないため、特に守らなくてもいいもの」「ここにいる議員の皆様も一緒」という趣旨の発言があったことから、このことを受け、山本光俊議員ほか、賛成議員 6 人より、徳竹栄子議員の辞職勧告決議案が提出されました。25 日の本会議において、提案理由は「他の議員に対する侮辱的な発言で、公約に期待し 1 票を投じた町民を裏切る行為である。議会の信頼回復のため、こうした言動を厳しく非難し再発防止に向けた具体的な行動を取る必要がある」との説明でした。

尚、徳竹議員より、弁明のなかで「町民や議会を軽んじる意図はなかったが、言葉の選び方に配慮がなく、深く反省しています」との発言がありました。

採決の結果は、議長および本人(除斥)を除く 11 人のうち 7 人が決議案に賛成し、可決しました。

地方自治においての議会は二元代表制のもとで、直接町民の皆様の声を聞き、負託に応え町民の福祉の向上に努めていくとともに、町全体の利益と発展を心がけることが重要な責務であると考えております。

町民の皆様には、議会及び活動に対して十分ご理解いただいているとは言いがたい現状であると感じており、この距離感を少しでも縮めていくための議会改革、活性化などをさらにすすめる活動に取り組んでいるさなか、このような事態に至ったことは誠に残念であり、遺憾であります。

議員本人は、このたびの決議を重く受け止め、今後について判断されることと思いません。

今後、本町議会では、議員一人ひとりが、町民からの厳粛な信託を受けた立場と職責を深く認識し、一日も早い信頼回復に誠心誠意努めてまいります。

皆様におかれましては、何卒ご理解を賜われますようお願い申し上げます。

令和 7 年 7 月 11 日

山ノ内町議会議長 白鳥金次